

# 学力向上に関する取組

安芸太田町立安芸太田中学校

## 1 令和5年度全国学力・学習状況調査結果【教科に関する】

### (1) 国語 課題と指導改善に向けて（2学期以降の取組）

課題 ※かっこ内の数は、本校と全国の正答率

問題番号3二 (7.7/43.9) ▼36.2

文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる問題の正答率が低い。

問題番号3三 (53.8/61.8) ▼8.0

具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題の正答率が低い。

問題番号4一 (53.8/82.5) ▼28.7

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる問題の正答率が低い。

**【知識・技能に関する問い、特に言語事項に関するものについて理解が進んでいない】**

問題番号1一 目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる問題の正答率が全国に比べて低い。(69.2/87.5) ▼18.3

問題番号4三 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題の無答率が全国に比べて高い。(30.8/20.7) △10.1

指導改善に向けて

○知識・技能に関する言語事項の育成

課題から言語事項の習得の機会を充実させる必要がある。具体的には、ICT教材(e-boardなど)を活用し、自主学習を中心に、知識・技能に関連する事項について学習できるようにしていく。また、漢字や語彙の定着に課題を感じるため、漢字や語彙の学習についても2分前学習などを中心に拡充を図っていく。

○思考力・判断力・表現力の育成

複数の資料から必要な情報を見つけ出す能力や複数の資料を総合して考える能力の育成を充実させるために、単独の教材のみではなく、読み合わせ教材や関連した資料を複数提示したうえで、文章内容の読解を行わせる。

(2) 数学 課題と指導改善に向けて (2学期以降の取組)

課題 ※かっこ内の数は、本校と全国の正答率

【数と式】

- ・自然数の意味を理解しているか確認する問題。(問題番号1) (38.5/46.1) ▼7.6
- ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明すること。(問題番号6(3)) (46.2/40.9) △5.3 無答率 (30.8/24.7)

【図形】

- ・空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解している。(問題番号3) (23.1/30.4) ▼7.3
- ・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる。(問題番号9(1)) (46.2/32.1) △14.1 無答率 (38.5/24.7)

【関数】

- ・反比例の意味を理解しているか確認する問題(問題番号4) (46.2/42.8) △3.4

【データの活用】

- ・累積度数を理解しているか確認する問題(問題番号5) (30.8/46.1) ▼15.3

本校の正答率は、思考・判断・表現を評価する問題はすべて全国正答率より高いが、知識・技能を評価する問題が全国正答率より低い問題が3問ほどであった。

特に、【数と式】と【図形】の問題では、全国正答率よりも約7%ほど低い。

指導改善に向けて

○基本的な知識の定着

【数と式】では、毎授業の導入で反復練習に取り組むことで、基本的な技能の定着を図る。

○思考力・判断力・表現力の育成

【図形】では、これまでに学習した図形の性質から新たな図形の性質を導き出し、その性質が成り立つ理由を数学用語を用いて根拠を明確にしながら説明する活動の中で、結論から根拠を明らかにしていくことを通して、論理的に思考する力を育くむ。

(3) 英語 課題と指導改善に向けて (2学期以降の取組)

○設問ごとの課題 ※かっこ内の数は、本校と全国の正答率

「聞くこと」

日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る問題。

問題番号 3 (38.5/41.2) ▼2.7

「読むこと」

図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する問題。

問題番号 7 (1) (38.5/59.8) ▼21.3

「書くこと」

社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く問題。

問題番号 8 (2) (30.8/19.5) △11.3

未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書く問題。

問題番号 9 (1) ① (38.5/40.4) ▼1.9

疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書く問題。

問題番号 9 (2) (30.8/29.0) △9.9

日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く問題。

問題番号 10 (7.7/7.4) △0.3

○全体の課題

- ・全問題のうち、「書くこと」に多くの課題がある。問題番号10の「学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を25語以上で書く問題の正答率は7.7%(全国比+0.3)であった。また、無回答率も高かった。

指導改善に向けて

○「書く力」の育成

自分の考えや事実などを整理し、まとまりのある文章を書くために、文と文の順序や相互の関連に注意を払い、全体として一貫性のある文章を書く活動を日常的に取り入れる。また、出来事や事実を描写したり、考えや感想を述べたりする場面を設定し表現する場면을計画的に取り入れる。ALTとの授業においては社会的な話題を取り上げ、プレゼンテーションを聞いた後に、質問などのやり取りをしたり、レポートにまとめたりする活動を意図的に仕組む。

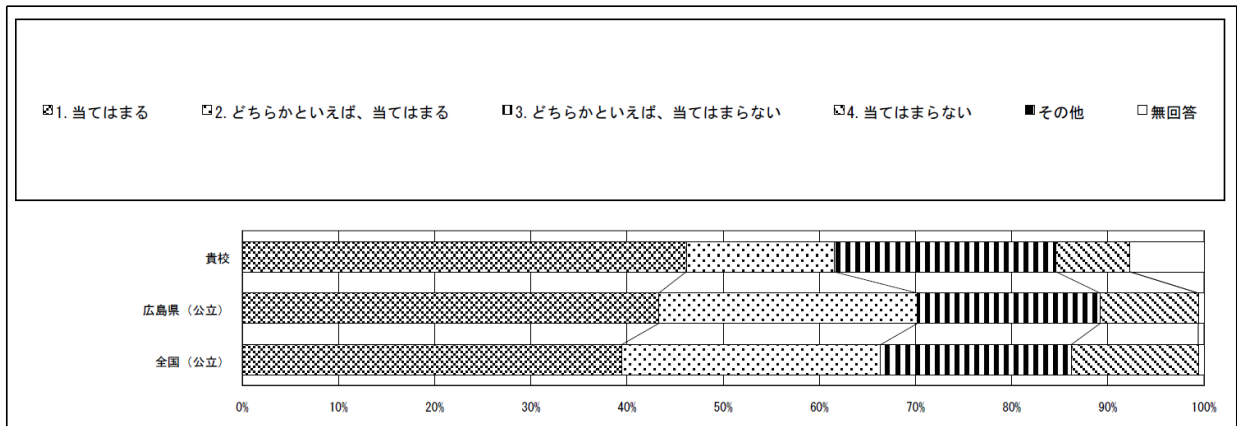
Creativeノートへ自分の考えや感じたことを表現する際には、I think や I agree などの表現を用いて賛否や自分の意見を述べたり、because や so などの接続詞を用いて意見や主張とその理由や根拠の関係を明確にしたり、first や second などの副詞を用いて表現し、読み手にとって読みやすく分かりやすい文章を書くように指導する。

2 令和5年度全国学力・学習状況調査結果【質問紙に関する】

【課題】

(7) 将来の夢や目標を持っていますか。

質問番号	質問事項										
(7)	将来の夢や目標を持っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	46.2	15.4	23.1	7.7						0.0	7.7
広島県（公立）	43.3	26.9	19.0	10.2						0.0	0.6
全国（公立）	39.4	26.9	19.8	13.2						0.0	0.6

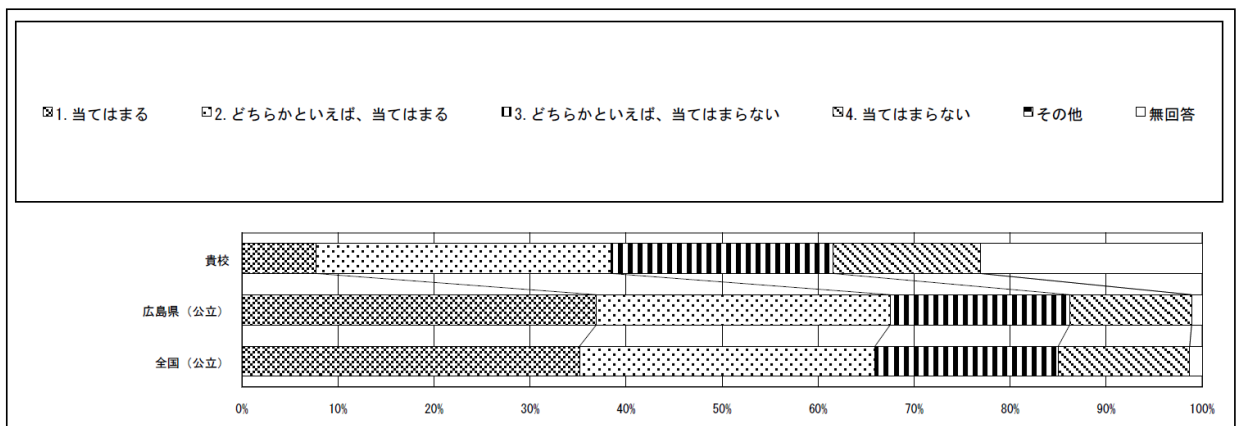


〈課題に対する2学期以降の取組〉

- ・ ステップアップシートの活用
- ・ 中高連携の充実
- ・ 外部人材の活用（11月中旬：ひろしま Take Place 大谷様）
- ・ 総合的な学習の時間を核にしたキャリア教育  
（1年：職業調べ、2年：CSW・高校調べ、3年：進路指導）

(24) 読書は好きですか。

質問番号	質問事項										
(24)	読書は好きですか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	7.7	30.8	23.1	15.4						0.0	23.1
広島県（公立）	36.9	30.6	18.7	12.7						0.0	1.1
全国（公立）	35.2	30.8	19.1	13.7						0.0	1.3



〈課題に対する2学期以降の取組〉

- ・ 生徒会文化委員会を核にした図書館経営

→ 図書館環境整備、運営、読書推進活動等

・外部人材の活用（町立図書館司書：ブックトーク、文化委員会への指導）

**【強み】**

(10) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

(76.9/66.4) △10.5

→ 学年会職員による定期的な個別面談、SC・SSWによる全員面談

(13) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

(92.4/77.6) △14.8

(40) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

(92.4/79.7) △12.7

→ 対話を重視した授業（安芸太田中授業スタイル）、協調学習の実践

(30) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。

(69.3/63.9) △5.4

→ 地域活動部による地域貢献活動、総合的な学習の時間（地域に関わる内容）

(33) 2年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

ほぼ毎日（92.3/28.1）△64.2

→ 各教科での実践、生徒会活動、学校行事での活用

### 3 学力向上の成果と課題

#### <成果>

##### ○ 基礎的・基本的な学力の向上

		1年（標準学力調査）	3年（本調査）
国語	本校	64.3（△0.8）	69（▼0.8）
	全国	63.5	69.8
数学	本校	61.3（▼2.8）	56（△5.0）
	全国	64.1	51.0
英語	本校	58.1（▼3.1）	52（△6.4）
	全国	61.2	45.6

→ 各教科の授業の充実（数・英の習熟度別学習）、自主学習の取組、個別指導等

##### ○ 評価の観点「思考・判断・表現」が全国平均正答率を上回る

	本校	全国
国語	76.1	69.7
数学	50.8	41.6
英語	49.0	38.8

→ 対話を重視した授業（安芸太田中授業スタイル）、協調学習の実践

##### ○ ICT活用

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

（肯定的回答 100%）

→ 授業や家庭学習におけるタブレット活用の推進

##### ○ 自己表現力の向上

1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

（肯定的回答 92.3%）

→ 対話を重視した授業（安芸太田中授業スタイル）、自己表現朝会の取組

#### <課題と課題に対する2学期以降の取組>

##### ○ 家庭学習

→ 宿題と自主学習の取組（特に、自主学習の充実）

##### ○ 読書習慣

→ 「2」と同様

##### ○ 生活習慣

→ 3点固定の取組の実施（実施後の）・保健指導（全校合同授業）・三者懇談での保護者への啓発